

# 浮腫（むくみ）

監修／島根県斐川中央クリニック 院長 下手 公一

症状と所見

処方

比較的体力がある（軽度実証）

心不全、胸水、肝うっ血

木防己湯

体力は中程度（中間証）

基本処方

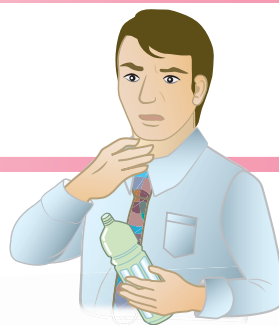
（口渇・尿量減少）

五苓散



胸脇苦満、ネフローゼ症候群、舌白苔

柴苓湯



体力がない（虚証）

発汗しやすい、疲れやすい、関節痛

防己黄耆湯

膀胱炎の症状で尿量減少、口渇

猪苓湯



冷え（+）

夜間頻尿、腰痛

八味地黄丸

月経異常、貧血傾向、倦怠感、めまい

当帰芍薬散



## 1 point ワンポイント・アドバイス

浮腫（むくみ）の原因は、肝硬変や心不全・慢性腎不全の他、塩辛いものの摂り過ぎ、立ち仕事、運動不足などさまざまです。いずれが原因でも、治療の基本は食塩摂取量の制限で、さらに腹水が溜まるような重症になると水分摂取量の制限も必要となります。また薬物治療では利尿薬が用いられますが、利尿薬は使用量が増えると低カリウム血症などの副作用も確実に増えるため、まずは症状にあわせた漢方薬の使用が薦められます。漢方では、浮腫（むくみ）を水滯と捉え、その基本処方は五苓散と柴苓湯です。